



(公社) 岩手県トラック協会
会長 高橋 嘉信

新年のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様におかれましては、常日頃から協会の運営に対し、多大なるご理解とご協力を賜り衷心より厚く御礼申し上げます。

平成25年4月から公益社団法人として再出発し3年目が過ぎようとしておりますが、これまで以上に会員の皆様のご協力を得ながら、公益社団法人としての運営を進めて行くこととします。

さて、3.11東日本大震災から4年10ヶ月が過ぎようとしておりますが、復興・復旧等は未だ道半ばであり、沿岸

地域での人口の流失等にみられるように、被災地域における「街の再生」にはまだまだ時間を要する現状にあり、我が業界へも大きな影響を与えて続けております。

加えて、燃料価格は落ち着いているとは云え、求める単価には程遠い状況であり、且つ、深刻化している運転者不足、安全・環境規制の強化に伴うコスト増が続き、適正な運賃収受に向け積極的な取り組みにも係わらず、依然として、トラック運送事業は厳しい経営局面が続いております。

しかし、この様な状況下だからこそ、社会は“物流の大切さ”を認識し始めました。荷主（企業）さんを支える“縁の下の力持ち”から、やっと表舞台に立てる時代が到来したのです。

このチャンスを我々は以下の課題に取り組むことで掴み取ろうではありませんか。

【交通事故防止・飲酒運転の撲滅、労働災害防止について】

①平成27年の会員による重大交通事故の発生状況（11月累計）は、23件（対前年比11件の増）の発生となりました。

その内、第1当事者によるものが9件（対前年比3件の増）、死者6名（対前年比5名の増）となり、岩ト協として掲げた当初の目標『第1当事者となる事故の死者数“0”』『第1当事者となる事故発生件数を4件以内』は残念ながら達成することが出来ませんでした。

本年こそは、心新たに全会員事業者一丸となって、死者数「0」に向かって、取り組むこととします。

対策としては、これまで以上に「運行管理の徹底」を図って頂くことに加え、節目節目での、安全点検パトロールによる意識の高揚を図りつつ、交通事故防止に有効とされる「ドライブレコーダー」の導入の普及を図ることとします。

尚、飲酒運転は、平成23年7月より現在まで発生しておりません。本年も“ゼロ”を目指して、運行管理の徹底をお願いいたします。

②労働災害の発生状況は（11月累計）は、死亡災害2名となり、3年連続しての発生となりました。更に、死傷災害についても、22年以降増加傾向に歯止めがかからない状況が続いております。

あらためて、労働災害においても“ゼロ災”を目指し、特にも、荷役作業時の災害防止に向けて、事業所においては点呼の際の「作業指示」を的確に行ない、労働災害防止に努めて頂きますようお願いいたします。